

## 蝶ヶ岳 常念岳登山

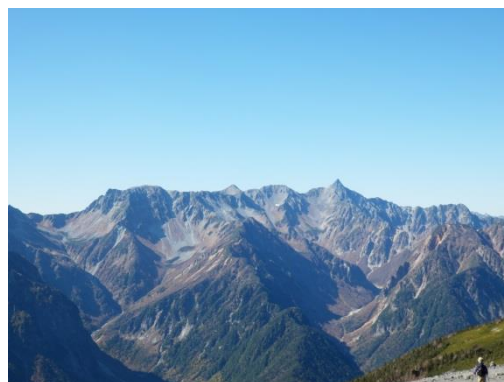
【日程】2016年10月14日(金)～16日(日)

【メンバー】ハンブルクの星

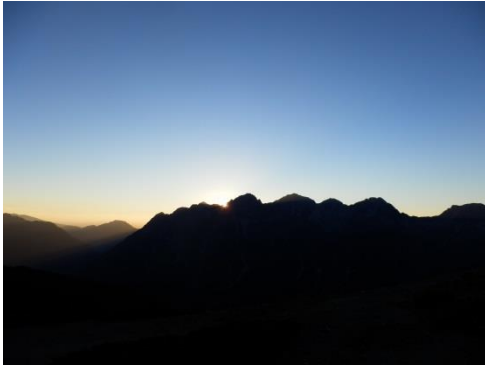
・元々一度、7月に計画したが悪天候の影響で中止したのでそのリベンジも兼ねての山行となった。注意したのは三股登山口までの鳥川林道は落石防止工事の為、年内は日曜、祝日以外は午前8時から午後5時までは交通規制で一般車両が通行できなくなること。その前に登山口に到着できるよう頑張って浜松を早めに出発した。

・1日目は三股登山口から蝶ヶ岳山頂へ。登山道沿いは紅葉もほぼピークで美しかった。

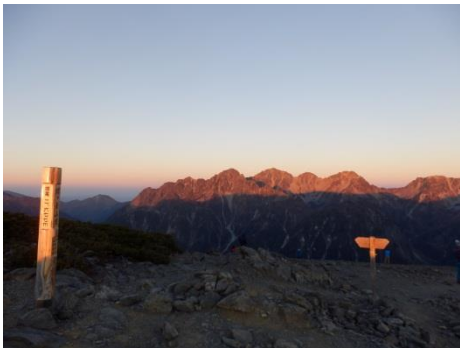
先月の台風の影響か、新しい倒木が多かったが、倒木を整理してルート確保がきちんとされていた。さすが北アルプス。



途中ゴジラの木、まめうち平と蝶沢で小休止し、約4時間半で蝶ヶ岳山頂に立つ。山頂からは360度の大展望。眼前に北穂、涸沢、奥穂、前穂、西穂の穂高連峰、槍ヶ岳の大迫力の眺望に感動。さらに南アルプスや富士山、乗鞍岳に御嶽山、中央アルプス、浅間山など素晴らしい眺望を存分に堪能した。

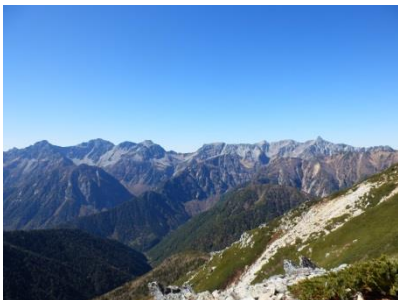


夕方は近くの瞑想の丘で私もゆっくり瞑想してみた。日没は穂高と乗鞍方面の山の端に陽が沈むのをじっくり観て楽しんだ。



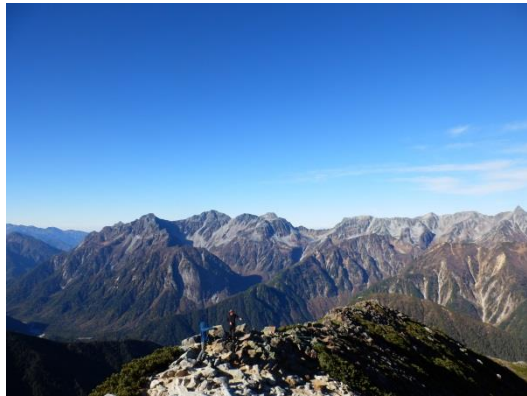
・2日目は蝶ヶ岳山頂からご来光を見る。気温は零下7度でかなり冷えたが、穂高と槍ヶ岳が赤く染まるモルゲンロートが非常に印象的だった。

蝶ヶ岳から常念岳にかけては北穂、涸沢岳、奥穂、前穂、西穂の穂高連峰、槍ヶ岳の眺望を左手に楽しみながら標高 2,600～2,800m の稜線散歩を楽しめた。



蝶ヶ槍、2592 ピークを経て常念岳直下は岩場で、そこを越えて約4時間で常念岳山頂に立つ。山頂からは360度の大展望。穂高連峰、槍ヶ岳、笠ヶ岳、大天井岳、燕岳、立山連峰などの北アルプス、蝶ヶ岳から歩いてきたルートもよく見えた。山頂は30~40人くらいの登山者であふれていた。夏の計画では常念山頂から前常念を経て一挙に下山する予定だったが、今回は常念小屋泊まりなので時間はたっぷりある。山頂で心行くまで1時間半くらい大パノラマをゆっくり堪能した。このあと常念小屋のテラスから槍ヶ岳を望みながら生ビールで乾杯！これは美味かった！！

但し、ここで思わぬ落とし穴があった。予定していた常念小屋から前常念岳への巻道が廃道になっていて、結局再度常念岳に登頂して前常念を通るルートになるということが判明。最新の情報入手を怠っていたことが裏目。まあ、常念岳山頂からは15日は昼頃、16日は早朝の時間帯の違った眺望を楽しめたのでこれはこれで良かった。



・3日目は一旦、常念岳山頂に立って、そこから前常念岳を経て三股登山口へ。前常念岳から三股への下山ルート之初は急な岩稜帯、ガレ場の下りが暫く続き、慎重に下降した。この下山コースはそれまで賑わっていた蝶ヶ岳と常念岳とはうってかわって殆ど人と出逢わなかった。岩場を過ぎると穂高、槍の眺望はなくなり、樹林帯に入る。3時間ほどで三股登山口駐車場戻る。駐車率は6割ほどだが、もう1か所下の第2駐車場もかなり車が停まっていた。

3日間連続で晴天に恵まれ、北アルプスの大パノラマを観ながらの山行を堪能できた。もともと計画していた1週間前(10/7~10/9)は荒天だったので延期したのは大正解だった。

### 【行程】

2016/10/14 (金)

7:00 三股登山口駐車場着 1,350m。平日だが8割ほどの駐車。

7:30 登山開始。9:25 まめうち平。10:15 蝶沢 12:00 ~13:00 蝶ヶ岳山頂。

13:10 蝶ヶ岳ヒュッテ、チェックイン。

2016/10/15 (土)

7:30 小屋出発、8:00 蝶槍、9:00 2592 ピーク、11:30~13:00 常念岳山頂

14:00 常念小屋チェックイン。

2016/10/16 (日)

6:30 小屋出発、7:30~8:00 常念岳、9:00 前常念岳 10:30 2207 地点

13:00 三股登山口駐車場戻る。14:00 ほりで一ゆ